

竜光寺公園整備に関する提言書

令和 6年12月10日

広川町長 氷室 健太郎 様

竜光寺公園整備ワークショップ委員 一同

私たち、竜光寺公園整備ワークショップ委員は、広川町が進める竜光寺公園の遊具の更新など公園リニューアルにあたり、「子ども達が安全で、元気に遊べる場所づくり」のため、令和6年7月31日に委員として委嘱を受け、4回のワークショップの中で、利用者の視点から慎重な議論と検討を重ねてきました。

私たちは、竜光寺公園が多くの町民に親しまれる公園となれば、町外の方にも利用が広がり、その結果、「広川町で子育てしたい」、「広川町に住みたい」といった方が増え、今、広川町が進めている「子どもまんなかプロジェクト」や「広川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みに寄与するものだと考えています。このため、今回のワークショップでの議論を踏まえ、公園整備に関する提案事項を次のとおり取りまとめましたので、町へ提言いたします。

記

1. 公園遊具の整備にあたっては、子どものニーズを捉え、シンボリックな大型複合遊具やアスレチックなど様々な遊具の検討を行い、広場は自由に駆け回ることが出来る多目的広場になるよう整備し、多くの子どもが遊べる公園整備を行ってほしい。
2. 公園の利用が、小さな子どもや障がい者、高齢者と様々な人が利用していることから、遊具もインクルーシブな遊具や健康遊具等の設置も考えてほしい。
3. 遊び場は、子ども達だけでも安全に遊べる空間となるよう植栽管理に努め、野球場からも見通せる様にしてほしい。
4. 多くの方が気軽に公園を利用できるようにするためには、トイレの整備は重要となります。施設の配置計画にあった動線を考えて頂き、利用しやすい多目的トイレの再整備を考えてほしい。
5. 近年の酷暑の状況を踏まえ、景観にも配慮し、適度に樹木を植樹してほしい。また、水辺空間の整備も検討してほしい。
6. 活気あふれる公園とするために、マルシェ等のイベント活用もできるように、電源等が備わった屋根付き休憩所の設置を検討してほしい。屋根付き休憩所は、子ども達の見守りを行う親の居場所にもなるため、遊具周辺にもほしい。
7. 多くの方の公園利用が可能となるように、園路のバリアフリー化に努められ、駐車場の拡充を行ってほしい。
8. 公園内の様々な禁止事項の見直しを行うと共に、公園利用者が守るべき新たなルールづくりを進め、みんなが利用しやすい公園づくりを住民と連携して進めてほしい。